

Introduction

～ まちの人紹介 ～



地域おこし協力隊 学校 ICT 支援員

しら は た
白幡

りょう
諒さん

今回、まちの人紹介の取材に応じてくれたのは、4月から学校ICT支援員として雄武中学校で勤務する滝上町出身の白幡諒さん。

北海道情報大学を卒業後、約4年を札幌市内で生活し、地方での生活をしたという思いから転職を決意。以前から興味のあった学校に関わり、子どもたちと触れ合うことのできる仕事を探しているときに雄武町の学校ICT支援員の募集があることを知り、応募することを決意されたそうです。

主な業務は、学校内のICT環境の整備と技術的な助言などで「今はまだ、地域おこし協力隊として雄武町を知り、自分にできることを模索しています」。

「まだまだ未熟な部分はありますが、自分の成長と地域おこし協力隊として活躍できるように頑張ります。また、ICTに関わることやそれ以外での町民の皆さんとの何気ない交流を楽しみにしています。町内で見かけた際は是非お声がけください。これからどうぞよろしく願います」と町民の皆さんとの交流を楽しみにされているようでした。

白幡さんの今後の活躍に期待です。



雄武町民憲章（町民の誓い）

雄武町民わたしたちは、オホーツクのきびしい自然を生かし、父祖・先人の労苦を感謝しながら、郷土愛にみちた町づくりと、ひとりひとりのしあわせのため、一すこやかに、なごやかに、まめやかに一励まし合い、希望と自信をもって、生きがいある生活につとめ、たしかな未来につながる信条をかかげて、朝夕守りとおすことを誓い合います。

- 一、自然を生かし、住みよい環境をつくります。
- 一、きまりを守り、明るい社会をつくります。
- 一、ともに助け合い、楽しい職場をつくります。
- 一、元気に働き、豊かな家庭をつくります。
- 一、希望に生き、たくましい雄武町民となります。

昭和 46 年 3 月 19 日制定

❖編集後記

Editor's note

▼今回、本紙「まちのできごと（7ページ）」で紹介している長澤琉生さん取材してきました。予選大会ではあまり緊張はなかったと話していて、練習中でも笑顔の絶えない様子は本当に卓球が楽しくてたまらないんだなという印象があります。昨年のフレッシュトークで聞かせてくれた夢に近づけるよう、心から応援しています（松井）